

社会福祉法人 本郷の森 平成 30 年度 事業報告書

『ホームいちょう』『第 2 ホームいちょう』

1. 事業全体としての振り返り

④ホームいちょう

4月より新たにB型事業所から0がホーム配属となった。勤務経験が豊富な職員が加わることにより、今まで以上にメンバー支援対応や休日の行事プログラムなど幅の拡がりを作ることができた。メンバー支援では2名が卒業となり現在も安定して一人暮らしを継続している。その後の新規受け入れでは虐待案件で行政側と支援体制について協議を必要とするケースの受け入れがあったが、今後も関係機関との連携を図りながら安心した生活が送れるよう支援を行いたいと考えている。1月からは都加算に新設された「精神科医療連携体制加算」の導入により、これまで以上に医療側との積極的な情報共有を行いながらより良い支援に繋がれることが期待される。

④第 2 ホームいちょう

S・Tの2名体制で運営。(0が4月-10月まで週2日サポート)アットホームな雰囲気は変わらずで、概ね落ち着いた1年間だった。生活面など大きな出来事・支援としては、5月に新たな入居者を迎えたこと、入居者の会社に訪問・就労支援の引継ぎ、「食品チェックシート」での食の振り返り、野球観戦・コンサートなどを余暇活動の提供等を実施。町会のイベントにも積極的に参加でしている。また、ホーム外のメンバーの引越しのサポート、0Bの訪問など多岐にわたる支援に携わることができている。課題としては、サテライトのマンションの取り壊しが決まり、現入居が卒業後は、利用が難しい状況となっている。

2. 利用者状況 (H31年3月末日現在)

(1)入居者状況

④ホームいちょう【定員7名】 介護サービス包括型事業

ROOMNo.	年齢	性別	利用開始	日中活動	生活保護	居住地
102号室(アパート)			H29年12月	デイケア	○	
201号室(アパート)			H29年4月	就労中	—	
202号室(アパート)			H29年4月	B型	○	
203号室(共同)			H28年8月	B型	—	
204号室(共同)			H31年2月	B型	—	
301号室(共同)			H30年12月	B型	○	
302号室(共同)			H29年11月	B型	○	

④第 2 ホームいちょう【定員5名】 介護サービス包括型事業

ROOMNo.	年齢	性別	利用開始	日中活動	生活保護	居住地
101号室(共同)			H29年1月	B型	○	
201号室(共同)			H29年6月	就労・B型	○	

202 号室(共同)	■■■■■	H30 年 5 月	B 型	—	■■■■■
203 号室(共同)	■■■■■	H28 年 8 月	就労	—	■■■■■
201 号室(サテライト)	■■■■■	H29 年 1 月	就労	—	■■■■■

※202 号室・H31 年 5 月に女性 1 名が入居

(2) 利用終了者の状況について

◎ホームいちょう

共同生活援助	性別	年齢	利用期間	退去時の状況
301 号室 ■	■■■■■	■■■■■	H27 年 10 月～H30 年 9 月	一人暮らし
204 号室 ■	■■■■■	■■■■■	H27 年 10 月～H30 年 12 月	一人暮らし

204 号室の利用者は物件探しの都合により 3 か月間の延長滞在となった。

(家賃は都加算の空室補助を活用して対応)

(3) 新規利用者受入に関して

募集事業所	審査面接日	居室タイプ	募集人数	申込み数	文京区民
ホームいちょう	10/30	共同タイプ	2 名	4 名	2 名

募集事業所	審査面接日	居室タイプ	募集人数	申込み数	文京区民
第 2 ホーム	—	共同タイプ	—	—	—

※当法人の B 型を利用の方で、ホーム利用が必要とのことで募集をかけずに入居の契約に至っている。

(4) 利用状況(卒業・受入れ)の考察

ホームいちょうでは、2 名が卒業。いずれも一人暮らしに移行している。一人は地元で区で生活。一人は文京区に住まいをかまえ、文京区へ転居という形で生活がスタートしている。文京区での住まい探しは難航したが、区が紹介する「すまいる住宅」の物件で契約することができている。その後 2 名の新しい男性が入居している。男性 7 名が利用しているため、女性の入居のタイミングが課題となっている。

第 2 ホームでは、H30 年 3 月に卒業した部屋に 5 月から新たに女性が入居している。H30 年度の卒業はないが、H31 年度は 3 名が卒業予定。(内 1 名はサテライト利用者)

3. メンバー・OB 等への支援

(1) 夕食会

基本的に毎週木曜日に開催、第 2 週は OB メンバーも参加可能な形式で開催。

費用は 200 円～500 円程度。()内は、OB の参加人数。

実施回数

開催月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
ホーム	4	4	4	4	5	4	4	5	4	4	5	3	50 回
いちょう	(3)	(5)	(2)	(2)	(2)	(3)	(3)	(4)	(1)	(3)	(3)	(9)	(40)
第 2 ホーム	4	4	4	4	5	4	4	5	4	4	4	4	50 回
いちょう	(4)	(2)	(3)	(2)	(4)	(2)	(4)	(3)	(4)	(3)	(3)	(1)	(35)

(2) 行事・出来事

日 程		内 容	メンバー参加人数※(OB 数)	
			ホームいちよう	第2ホーム
5月	29日	外食行事(サイゼリア)		5名
6月	4日	心のふれあいをすすめる会 ボウリング大会	1名	
	21日	防災訓練		5名
	28日	バレー大会	1名	1名
7月	4日	防災館見学	2名	3名
	7日	幕張コンサート		3名
	8日	七夕・花火大会		3名
8月	21日	外食行事(一番餃子)		5名
	31日	夕食会后 かき氷	7名	
9月	7日	心のふれあいをすすめる会 バスハイク	1名	1名
	29日	家族教室	1名	4名
10月	4日	防災訓練	6名	
	20日	東大ホームカミングデー		2名
	21日	本郷百貨店祭り	1名	
11月	10日	福祉センター祭り	1名	
	16日	そなエリア(防災体験学習)	1名	2名
	8日	合同外出行事(横浜中華街)	6名(3名)	4名(3名)
	20日	防災訓練	7名	
	31日	年越しそば会	3名	2名
1月	1日	お雑煮会	3名	2名
	4日	初詣	2名	
	23日	バレーボール大会		1名
2月	3日	節分 豆まき		4名
	10日	30周年式典		2名
	25・26日	オーダーメイド型防災訓練(ホーム:26日・第2:25日)	5名(2名)	4名
	26日	外食行事(本郷肉劇場)		5名(1名)
3月	16日	善意銀行招待 ライブ観賞		3名
	17日	カラオケ行事	7名	
	28日	世話人送別会	6名(5名)	

- ・オーダーメイド型防火講習会：昨年度に引き続き、文京区から補助金を受けて、東京救急防災の方々に実技を含めた講習をホーム内で実施。AEDの使い方や消火訓練等多岐にわたる訓練内容をメンバー、世話人ともに学習することができた。

4. 会議・地域活動

日程	会議名	参加者
毎月 第3火曜	東京都精神障害者共同ホーム連絡会	■■■■■
月1回	ホーム合同会議	■■■■■■■■■■

5. 研修

日程	研修名	参加者
6月 15日	居住支援系サービス事業所研修	■■■
6月 19日	東京都説明会	■■■■■
8月 23日	東京都説明会	■■■■■
9月 22・23日	実習指導者研修	■■■
10月 27日	通過型 GH 研修	■■■■■■■■
12月 6・7・11日	虐待防止研修	■■■
1月 17日	地域拠点事例報告会研修	■■■■■
2月 22日	地域ケア包括システム説明会	■■■

※事業所と重複している「会議・地域活動・研修」については事業所の事業報告に記載

6. 職員の状況

(1) 常勤構成

職名	ホームいちよう	第2ホームいちよう
管理者	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■
サービス管理責任者		■■■■■■■■■■
世話人		■■■■■■■■■■
世話人	■■■■■■■■■■	■■■■■
世話人		■■■■■■■■■■

(2) 代替え世話人(2事業所兼務)の状況

氏名	勤務期間	氏名	勤務期間
■■■■■	平成27年8月～平成31年3月	■■■■■	平成30年5月～
■■■■■	平成29年5月～平成31年3月	■■■■■	平成30年5月～平成30年7月
■■■■■	平成29年4月～平成30年8月	■■■■■	平成30年5月～平成30年9月
■■■■■	平成30年4月～平成31年3月	■■■■■	平成30年6月～平成31年3月
■■■■■	平成30年5月～平成31年3月	■■■■■	平成30年10月～平成31年3月
■■■■■	平成30年11月～		

(3) 銀杏企画職員 勤務状況

土日祝日の勤務を銀杏企画の職員も担っており、一人当たり年2~3日程度の勤務支援を依頼している。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
勤務数	10	7	2	3	3	9	2	1	2	7	5	11	51

※ホーム職員は除く

7. 文京区精神障害者 単身生活サポート事業 (文京区委託事業)

グループホームを卒業する精神障害者が文京区内で単身生活を始める際に支援を行う事業。

居住確保・生活のサポート支援(24時間対応)を1年間に渡って行う。

年間利用者数	実利用者数 3名 (前年度より継続3名 30年度 新規0名)	回数
退所前支援	本人との面接	0
	カンファレンス出席	0
	不動産屋・物件関係	0
	関係機関との連絡	0
	その他	0
合計		0
入居後支援	本人との面接	3
	居宅訪問	2
	関係機関との連絡	0
	電話・メール相談	10
	不動産屋・物件関係	0
その他	0	
合計		15
総合計		15

※今年度は前年度からの継続支援のみで新規の利用対象は無く、また年度の早い段階で期間終了となるケースが多かった。内訳は当法人内より1名・外部より2名となっている。他の支援との繋がりが定着しており一時的な利用で終結したケースや生活が安定しており全体として対応件数が少なかった。来年度以降に関しては行政側と支援内容や範囲を検討する予定。